



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/31 現在)
世帯数 2,264 総人口 6,243 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

第20回 志津南ふれあい夏まつり



橘優子さんの司会でふれあい夏まつりがスタート

会場一杯に広がる笑顔

思いを込めて、志津南の熱い夏

第20回志津南ふれあい夏まつり(同実行委員会主催)が7月29日、「みんなと会える場所 大好きなまち・志津南」をテーマに若草中央児童公園で開催されました。今年は例年より1週遅く、近隣地区夏まつりと同日に重なったため、入出が心配されましたが、開催時間に先立って浴衣姿の子ども達や町内の人達が集まり始め、昨年を超す人々にぎわいました。ステージでは恒例の多彩な出し物に加え、「琵琶湖周航の歌」を会場全体で熱唱。また、会場はおなじみの模擬店などで盛り上がり、笑顔が広がりました。

今年は、梅雨を避けるべく、例年より日程を一週間遅らせました。その心配は無くても夕立ちを心配しながらのオープニングでした。

志津南ふれあい夏まつりも、20年の節目を記念する年となり、あらためてこのまつりを継続してきた諸先輩に感謝したいと思えます。「おじいさん、おばあさんが元気で暮らし、志津南から巣立ったお子さん、孫たちが楽しみに帰ってくる「お・か・えり」のまち」「志津南が家族」という思いで、今年の夏まつりのテーマを「みんなと会える場所 大好きなまち・志津南」としました。

昨年に続いて、司会者は岡本西の橘優子さん。元気の出る湖響太鼓の呼び出し太鼓からスタート。今回初

めでの「しづみなみんちゅ」による三線の演奏。また、琵琶湖周航の歌を挟んで、例年同様野火火アンサンブルやGSOなどの多彩なプログラムの後はおたのしみ抽選会を実施しました。

特にフランクフルト、かき氷、ポップコーン、やきそば、たこやきが大人気となりました。ヨーヨー、光るおもちゃ、金魚、鮎つかみは、夏休みを迎え、夏まつりを楽しみにしていただく子供たちで賑わいました。

来賓の橋川渉草津市長からは、夏まつり20周年のお祝いと共に、活発な地域活動、ふれあい交流の場を設けていただいていることに感謝するという言葉をいただきました。

高らかに琵琶湖周航の歌

琵琶湖の穏やかな情景を叙情豊かに歌い上げ、多くの人に親しまれて来た「琵琶湖周航の歌」が誕生

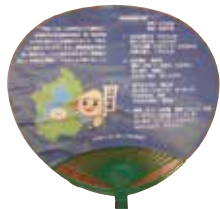


会場に響き渡る歌声



ステージで指揮棒を振る大久保委員長

用意された歌詞のうちわ



100周年を迎えました。県内各地で様々なイベントが開催されています。今年の夏まつりではこの100周年を祝い、琵琶湖の美しい自然に感謝し、会場で大合唱をしました。

歌詞が印刷された濃紺のうちわ500本を手作りし、会場に用意しました。ステージでは、出演者のGSO・野火野火アンサンブル・NBSなどがコラボして伴奏を担当。かつらを被って黄色い蝶ネクタイをつけた大久保実行委員長が、「笑点のテーマ」で舞台上で登場し、おもむろに指揮棒を振りました。

うちは各模擬店にも配られ、ステージ・観客・模擬店が一体となり、歌声が会場いっぱい響き渡りました。

軽快な♪恋ダンス♪に会場沸く

子ども達の踊りにはスマホの列



琵琶湖周航の歌の大合唱が終わり、20回目の夏まつりステージも中盤にさしかかる頃、登場したのは「Neutral B☆Stone」のメンバー6人。高校時代のバンド仲間が再結成し、メンバーの入れ替えがありながら夏まつりに参加は今年で4度目を迎えます。

「夏色」「DAN DANA心惹かれてく」「恋」「ラブストーリー」は突然にの曲目を次々演奏して盛り上がりました。

特に「恋」では、くるみ保育園の先生方の協力を得て、テレビで人気が出た「恋ダンス」が披露されました。

事前にはメンバーから相談を受けた保育園の先生が快諾、練習を重ねたそうです。ステージの下では園児たちも一緒に踊り、それをビデオや写真に収めようとスマホを構える親御さんたちが更に並びました。

太鼓で一気にまつり気分



まつりが始まる午後6時に先立ち、おなじみの勇壮な湖郷太鼓の演奏が始まりました。



勇壮な湖郷太鼓のばちさばき

初参加のしづみなみちゅ

身体より大きな太鼓を操る子ども達のばちさばきは圧巻で、その懸命な姿にまつり気分が一気に盛り上がりました。

「くさつ健康はつらつ体操」や「まんまる音頭」に続いたのは、郷愁をそそる三線の音。夏まつり初参加の「しづみなみちゅ」の皆さんが「涙そうそう」と「海の歌」を奏でました。9人のメンバーは、三線4人・キーボード2人・ボーカル3人で哀愁のこもったメロディを届けてくれました。

軽快なテンポに会場は大いに沸き、子ども達からも好評で「来年もして欲しい」の声まであったそうです。

からあげ棒初登場



若草二丁目内会では、今年から新たに「からあげ棒」の模擬店に取り組みました。例年の「おでん」が暑い中では人気が出なかったことから、小さな子どもさんから大人までみんなに楽しんでもらえる新しい内容をと検討を重ね、「からあげ棒」に決定しました。

食材の確保や運搬、販売方法など初めてのことはかりでしたが、経験者や近隣のお店からもご協力、アドバイスをいただき、無事模擬店を開催することができました。



浴衣姿も涼しげに



演奏するEカルテット



汗たぐってちぢみ焼く



ひまぐすくえたかな



あいさつする橋川市長

できました。写真。営業開始時は、不慣れな点もありましたが、お祭りが進むにつれ役員チームワークが発揮され、前売りを含め1200本の「からあげ棒」を完売することができました。たくさんの方々の協力により、夏まつりの新しいメニューは上々のスタートを切ることができました。

放置自転車が激減



「からあげ棒」を完売することができました。たくさんの方々の協力により、夏まつりの新しいメニューは上々のスタートを切ることができました。

暗がりでも視認性が高い蛍光色の粘着テープで区画整理をし、ポータブル照明灯を設置しました。

午後7時頃には8列の駐輪スペースが満車(約360台)、駐輪場周囲にも約80台が並び、会場周辺の放置自転車は激減しました。会場の出入りが安全かつスムーズに行え、一定の成果が得られたと思います。協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今年は会場周辺の駐輪対策として、若草診療所のご協力をいただき、若草医療ビルの駐車場全面に駐輪場を設置しました。写真。あわせて会場周辺の出入り口及び歩道で駐輪禁止を呼び

宴果てて大量のごみ



翌30日は、朝から役員のご協力によりテント撤収などが行われる予定でしたが、予期しない雨のため、8月290キロにもなりました。写真。キチンと分別して回収されましたが、中央公園隣の児童遊園には放置されたままのごみが大変多く、役員が掃除了しました。来年は、こちらのマナーも向上させたいものです。

七夕に願い込めて



願いを書いた短冊を笹につるすと、その願いが叶うと言われる七夕まつり。今年も子ども達が小さな手を合わせました。その願い、叶うといいですね。



<5>

淡路島の沼島と、徳島県の伊島は関西地区からの小物の魚釣りに出かける人が多いが、現在は釣り荒れしており、客もあまりいません。沼島の立神岩は、漁港から丘を越え反対側へ降りた所にあきかなりの有名です。山口県の見島は海荒れが多く挑戦の連続でした。萩港から50キロ程ですが、遙か彼方に浮かんでいる絶海

親子一緒に飾りつけ楽しむ



子育てグルーブ「おやこっこクラブ」ひよこっこクラブ」が志津南まちづくりセンターで、また子育てサロン「きらりん」が、かがやきの丘さくら会館で、7月6日それぞれ七夕会を開催しました。

合わせて60組余の親子が楽しいひと時を過ごしました。当日早朝、民生委員やボランティアの力を借り、地域の方のご厚意で竹林から青竹を伐採し笹竹を用意しました。持ち帰ると各会場はみずみずしい笹の葉の匂いに包まれ、七夕会がスタートしました。

語りかけると子どもたちは真剣に聞いていました。合間には広い場所が嬉しくて走り回る子どもたち、どの子も笑顔がいっぱいでした。続いて7月生まれのお友だちのお祝いをしました。「おめでとう」の祝福にニッコリ。



そして笹飾りに取り掛かりました。「おやこっこ」は事前に作ったいろいろな飾りを、「ひよこっこ」は市販の可愛い飾りを親子で笹竹に飾りました。写真上。できあがると写真に撮ったり、高く上げて嬉しそうに眺めていました。

らのおさやかなプレゼントを贈り「ありがとう」と可愛い声が返ってきました。軒先に「健やかに成長してね」と天の川を見上げて願いを込めて飾られたことでしょう。子どもたちに触れていると、自然に笑顔になり、心が癒されます。安全で安心な地域を作り大切な子どもたちがすくすくと成長できますよう、皆様の見守りをよろしく願います。(民生委員児童委員協議会)

同好の士と酒宴

の孤島で、中国、韓国、朝鮮から日本へ渡る鳥が体を休める秘境の島で、バードウォッチングをする人が多く訪れます。本州から遠方の為、防衛的観点から自衛隊レーダー基地があり、隊員と面談しました。また島



山口県の見島宇津港にて

の歴史は古く古墳も存在し、民宿での夜は同趣味の人と話も弾み、酒を酌み交わし、レンタカーも4人で借用、金銭的に助かりました。翌日は萩港から相島に行く予定でしたが、海が荒れたため大島へ変更し渡島。

見港から小さい船舶で向かい渡島、徒歩で2時間くらい散策しましたが、小さい島のため、自動車レンタルバイクとも無く苦勞しまし

愛媛県魚島は広島県因島土生港から向かい渡島、この島も漁業が盛んで、魚港は壮観な感じで、下水道とケーブルテレビの近代化により、先進的な島民が生活しています。香川県の伊吹島は観音寺港から渡島、この島もリヤカーを多く見かけました。散策は急な坂道を登らなければならなくて大変でした。迷路が多く、その昔弘法大使が杖で突くと水が出たという関伽井の泉蔵院、北浦、真浦、西の院等の名所がありました。

また「きらりん」は音楽に合わせて跳んだり、転がったり、走り回ったり体を動かして遊んだあと、願いを込めた短冊や飾りを親子で飾り付けました。写真右。できあがると得意満面に笹飾りをもって走り回ったり、嬉しそうなお声、笑顔が絶えません。各会場とも素敵に仕上がりました。子どももママも会話弾



当日は子育てクラブ「どんぐりクラブ」の親子と学校帰りの小学生10人余りが、若草文庫も7月5日、若草第三集会所で七夕飾りを楽しみました。思い思いの願い事を書いた短冊や、ハサミを器用に使用して作った長い吹き流しや網飾りを青々とした笹竹に飾りました。終るとみんなは隣の児童公園に飛び出し、ひと時鬼ごっこで遊んだ後、縁側に笹竹を飾りつけみんなで願い事が届きますようにとこり記念写真を撮りました。写真。なお、若草文庫、どんぐりクラブは8月いっぱいお休みし、9月6日午後2時から再開します。(若草文庫スタッフ)

願いが届きますように

若草文庫

「気づき」の感覚、頭を活性化



やすらぎ学級第3回講座が7月26日、志津南まちづ

くりセンターで開催され、学級生29人が参加しました。「認知症予防講座」と題し、認知症予防ネット理事長の高林実結樹さんを講師に招きました。

当日は、互いの表情がよく見える形で和気あいあいと楽しみながら、様々な認知症予防に関する知識を学びました。写真。

講師のかけ声に合わせて、指を順に曲げていくところ

夏まつり前に一斉清掃

地区内の一斉清掃が7月16日、若草中央、若草東、若草西児童公園をはじめ各町内会の児童遊園、緑道を



中心に清掃活動が行われました。

参加した住民832人がカマや竹ぼうきなどを手に集合。前日までに各町内会役員、ボランティアの皆さんに機械刈りしていただいた雑草や剪定後の小枝などを整理、回収に汗を流しました。写真。

日頃から整備していただいているボランティアの方々、当日参加して下さった方々ご苦労様でした。(地区環境美化委員会)

から「もしもし亀よ」の歌にのせてゲームが始まりました。全20種類あるという認知症予防ゲームは、うまく出来るのが良いわけではなく、「あ、間違えた!」とハツとする気づきの感覚が、頭の活性化に繋がるとの事。

触れ合い、スキンシップが大事で、笑うことで血行が良くなり、会場全体にも良い空気が生まれます。声を出すことで、同時に心の垣根も壊れます。

隣の人の指を挿んだり、逃げたりするゲームでは始終、学級生の笑い声が絶えませんでした。

ゲームには色々な工夫がこらされていますが、一人ではゲームは出来ないのが、高林さんから「グループで助け合って実践してください。

大道芸に大爆笑



追分南「元気づらぶ」が7月12日、追分南会館で演

い。教えられるリーダーが増えれば、草津市の認知症の発症率を低くすることが出来ます。」とのアドバイスをもらいました。

iPhone 勉強会

志津南まちづくりセンターは、次の要領で「iPhone初心者勉強会」を開催します。

▽日時 8月22日(火) 10時~12時・13時~15時(2回で1コースです)

▽場所 志津南まちづくりセンター 多目的室

▽内容 iPhoneでマインバーカードの申請を行いながら、アプリのダウンロードやカメラ機能の使い方等を学びます。iPhoneの機能を試すのが目

芸サロンの開催しました。

今回は栗東市金勝の沢久磨男さんに大道芸と漫談を披露していただきました。写真。

蒸し暑い日でしたが、30人が参加。口腔体操の後、和菓子の水無月と町内の方差し入れのシソジュースで一息ついて、沢さんの世相をもじった漫談と大道芸(腹話術、皿回し、南京玉すだれ、マジック)に大爆笑でした。

的ですので、その場での申請を強要するものではありません。▽持ち物 ①iPhone (こちらでは用意はできませんのでご了承ください。)お持ちでない場合、複数人で1台の画面を見ていただきます。通信のできるiPadでも可能です。また、センター内ではWi-Fiは繋がりにませんので、別途通

信料がかかります。②マイナンバー交付通知書
▽対象 志津南学区にお住まいの方
▽定員 先着順 10人
▽参加費 1200円
▽申し込み 志津南まちづくりセンターに直接お申込みください。(電話受付不可)
▽問い合わせ 志津南まちづくりセンター
電話(563) 6206

折々の記



朝目が覚めると今日も良い天気ようだ。窓際に立って外を眺めると、懐かしい日本の野山と違い、ここ朝鮮(現在の韓国)全羅南道・大田(テジョン)市郊外の小さな飛行場の宿舎の窓から見える景色は、山とはい

72年前の朝

え薄茶色の小高い丘が続き、ところどころりんご園の緑が点在している。

今日8月15日、1日の始まりだ。1カ月前半に遺書を書き、爪と髪の毛を封筒に入れて上官に渡してから死を覚悟した。昨日も同期生と話したが、世間で言っている我々の覚悟は「国の

為、天皇陛下の為一でもない、家族を守る為に死を覚悟すると言うのも少し違うように思う。幼いころから機械いじりに夢中になり、母親に時計を幾つ壊すのと言われ、乗り物が好きで大人になつたら飛行機に乗りたいと思っていた少年が、一番早く飛行機に乗るチャンス

が軍の飛行学校の受験であった。人一倍体格も良かったが、一次試験は少し年令が足りない様でも合格し、東京で一週間の適性検査も突破して、東京、熊谷、浜松の各飛行学校で戦闘機の操縦士として訓練を受け朝鮮の飛行隊に配属になった。

青津から4月に大田に来て4ヶ月になるがこの1ヶ月

ごみ袋引換券 来月末で無効
現在お持ちのごみ袋引換券は今年9月30日無効になります。10月1日からは新しい引換券に替わりますので、まだ引換券をお持ちの方は9月30日までに引き換えてください。

月余りは、今日も何事もなく無事に終わるのをどこかでかすかに祈るような毎日であった。訓練が終わる8月15日も無事に終わろうとしていた。だが何かいつもと違う。兵舎内に残っていた人達から「お昼に玉音放送があり日本が戦争に負けようだ」といった噂を聞いたが、上官からは何の話もなくそのまま寝床に入る。数日して終戦を知らされるが、我々は未だ戦って負けた訳ではないので、最後まで戦うと言って9月20日の武装解除まで通常の訓練を行っていた。

72年前の朝を想うと、現在(いま)の少年たちが描く自分の未来を大人が勝手に変えないよう、平和がいつまでも続くように祈るのみである。(A・F)